

中華街憲章 街づくり協定

THE YOKOHAMA CHINATOWN CHARTER

第一章 礼節待人の中華街 COURTESY

私たちは横浜中華街への客人を、社節をもって迎えもてなすとともに、客人とともに研鑽し、成長発展していきます。

第二章 創意工夫の中華街 CREATIVITY

私たちは多土済々な専門店の切磋琢磨と創意工夫を尊重するとともに、食文化をはじめとする街独自の中国的文化を創造し、横浜中華街の付加価値を高めます。

第三章 温故知新の中華街 TRADITION

私たちは異文化交流の場としての歴史を原点に、日々の生活や商売のなかに内包された独自の文化を表現し、それを横浜中華街のゆるぎないブランドとします。

第四章 先義後利の中華街 CUSTOMERS SATISFACTION

私たちは客人に大いなる満足を提供することで街を繁栄させるべく、専門店業としての自覚をもって、より良いサービスや就業環境の向上に一意専心します。

第五章 老少平安の中華街 SAFETY

私たちは一致団結して、横浜中華街から火災や災害の危険性を無くすとともに、暴力や犯罪の芽を一掃し、安全な街づくりを目指します。

第六章 桃紅押縁の中華街 AMENITY

私たちは街の緑化に率先励行するとともに、簡潔で清潔感のある魅力に満ちた横浜中華街の時空をつくります。

第七章 善隣友好の中華街 HOSPITALITY

私たちは横浜中華街の内部で育まれて来た善隣友好の互助精神を外部にも発揮し、人類の平和と発展を大切にする意識をもって街づくりを進めていきます。

横浜中華街 街づくり協定

基本理念

横浜開港とともに歩んだ中華街は、多くの先人達が刻苦勉励を重ねる中で生活と街の礎を築き、今なお外国人居留他の面影と歴史が生きた街であり、開港の歴史文化と国際化に培われた異国情緒を醸し出す横浜の文化遺産の街です。

歴史と文化の薫り漂う街としてのイメージを代表する風景があり、商業と生活が共存共栄し、自らが景観を守り育てる愛着と誇りをもちながら魅力と活力ある街を目指します。

安全で快適な商業居住地域として更なる発展をさせていくには居住者と事業者が協働して活力ある街づくりが継続できる新たな街のルールを定め、地域住民の一員としての誇りを持ち、横浜中華街の個性的な景観とコミュニティを次世代に引き継いでいきます。

第1項 街づくりの推進組織

横浜中華街の街づくりの円滑な推進を図るため、横浜中華街「街づくり」団体連合協議会内に「横浜中華街街づくり委員会」を設置し、次に掲げる事項について各団体及び関係者の意見をとりまとめるとともに、必要に応じて公共団体等関係団体・機関との連携調整を行うものとします。

1. 横浜中華街の魅力的な景観と安心と安全な街の醸成に関するすべての事項について。
2. 集合住宅の新築・増築等に伴う事前相談に関する事項について。
3. 新規出店に関する計画概要の事前説明に関する事項について。
4. 建築物等の用途制限に関連する事項について。
5. 中華街憲章に抵触する恐れのある事項について。

第2項 委員会の運営

「横浜中華街街づくり委員会」は構成団体や構成員の必要に応じて召集されるものとします。また必要に応じて公共団体等関係機関及び学識経験者、専門家の出席を要請し、その意見を聞くことができます。

1. 中華街街づくり委員会は、事務所を横浜中華街「街づくり」団体連合協議会内に置く。
2. 街づくり委員会の委員は、横浜中華街「街づくり」団体連合協議会から選出され、総計7名以上をもって構成し、委員長1名、副委員長2名を互選し運用にあたる。
3. 街づくり委員の任期は2年とし、再任を妨げない。
4. 本協定の改定は、「横浜中華街街づくり委員会」が改正案をまとめ、横浜中華街「街づくり」団体連合協議会の団体長会議で承認を得ることとする。

第3項 事前相談等の届出

集合住宅の新築・増築等や街の景観に影響を与える行為を行おうとする者は、出来るだけ早期に「横浜中華街街づくり委員会」に計画概要を説明し事前相談を行う必要があります。さらにその内容により協議事項がある場合は「横浜中華街街づくり委員会」が招集され、公共団体等関係機関と協議し、申請者との調整を図るものとします。



図 1

第4項 適用区域及び対象

1. 本協定は横浜中華街区域内（図1参照）において適用する。
2. 本協定は適用区域内のすべての住民及び事業者をその対象とする。
3. 街づくりを推進するために対象となる事業者は横浜中華街発展会協同組合と山下町町内会に、住民は山下町町内会に加入する。
4. 本協定は町内会や各団体が適用区域内で行うすべての催事には適用されない。

第5項 横浜中華街街づくり協定指針を以下の通りに定める

第1条 防災・防犯について

1. 災害時に互いに助け合える安心して働き、生活できるコミュニティづくりの為に防災組織の育成と防災訓練に参加する。
2. 治安の維持・向上に向け、犯罪が起これにくい環境の整備を行い、居住者・事業者・行政が連携し、防犯活動に参加する。

第2条 中華街への中華料理店出店について

1. 新たに横浜中華街へ出店する中華料理店は横浜中華街ブランドの価値と魅力向上に寄与する出店のみとする。
2. 出店に関する事前相談を要する場合は「街づくり委員会」に届け出を行うものとする。

第3条 建物用途について

1. マンション等の集合住宅の新築・増築等（角の入を含む）、以下の通りに面した所は禁止する。（図1参照）
中華街大通り 東門通り 南門シルクロード 広東道 関帝廟通り 長安道 市場通り
中山路 西門通り 北門通り 上海路 北京小路
上記の箇所に該当する通りに面したところの1階の部分を住宅としての新築は禁止する。但し、既存住宅は除外する。
2. マンション及び事務所等での暴力団及び風俗営業などの風紀を乱すような使用は禁止する。
3. 次に掲げる建築物の用途に使用してはならない。
パチンコ屋 ペットショップ ラブホテル キャバレー 消費者金融 ストリップ劇場 個室ビデオ アダルトショップ 個室付浴場に係る分衆浴場 その他、性風俗関連営業
4. 街の景観や雰囲気に違和感を与えたり、危害を及ぼす恐れのある施設は禁止する。
5. 街づくり協定で規制されない用途で問題が生じた場合は協議し定める。

第4条 看板・広告物等について

1. 景観や雰囲気など周囲との調和を乱したり、不快や危害を与える恐れのある広告物（映像ビジョン・音を出す工作物等）及び広告収入を目的とする他社広告看板の設置を禁止する。
2. 通行の支障となる置き看板やプラカードの歩車道での設置を禁止する。ただし店舗敷地内は可能。
3. 牌楼や電柱等へのはり紙・はり札を掲出することを禁止する。
4. 日除け類の設置は通行の支障にならない可動式のみとする。
5. のぼり旗の設置は禁止する。
6. 通り会や他団体による設置計画がある上記1～5については、期間限定で事前に「街づくり委員会」の同意を得たあとに関係行政機関に設置申請をする。

第5条 露店営業について

1. 歩車道において道路・交通管理者等の許可なくして行う露店・ワゴン販売・飲食営業は禁止する。
2. 上記の行為についての営業をすること及び他者に営業をさせることを禁止する。

第6条 迷惑行為の禁止について

1. 客寄せのために歩車進上でのイス・テーブルの設置、ビラ配り、客引き、押し売り等の行為及び他者にさせることを禁止する。
2. 歩車道での往来の妨げになる物を大小にかかわらず放置及び設置してはならない。

第7条 違法駐車・駐輪の防止について

1. 快適な歩行空間を維持するため、違法駐車・自転車やバイクの違法駐輪を禁止する。
2. 従業員の不法駐輪は店主の責任で駐輪場を確保するか、又は域内歩車道での駐輪をさせないことにする。

第8条 商品の搬出入について

1. 商品の搬出入は午前中に行うように努め、荷下ろし等で路上駐車する場合は速やかに行い、通行の妨げにならないようにする。

第9条 ゴミ処理について

1. 各店舗から出る事業ゴミは一般廃棄物回収業者に収業させ、居住者の家庭ゴミは収集日の指定時間・場所に出すことにし、事業ゴミを家庭ゴミとして、家庭ゴミを事業ゴミとして出さないこととする。
2. 家庭ゴミは収集場所への前日からのゴミ出しは禁止する。
3. 事業ゴミは午後9時以前のゴミ出しを禁止する。
4. ゴミの収集後の清掃は、各収集地区で行うこととする。
5. マンションなどの集合住宅や共同ビルにおいては、その管理者が責任をもってゴミ処理を行うこととする。
6. ゴミは横浜市で決められたルールを守り、減量化と分別リサイクルによる資源化に協力をする。
7. 粗大ゴミは所定の手続きをし、処理をする。

第10条 道路の清掃について

1. 各店舗前歩車道の清掃は各店舗が責任をもって、毎日行う。

第11条 緑化の推進について

1. 潤いのある街となるよう各店舗敷地内での緑化を積極的に推進する。

第12条 騒音について

1. 店舗の外に向けて設置した音響機器や拡声器の使用を禁止する。ただし、店舗内での使用はこの限りではない。
2. 客寄せのために大声を張り上げる行為を禁止する。
3. 路上での騒音の原因となる行為を禁止する。

第13条 臭いについて

1. 著しく悪臭を発生させる行為を禁止する。

第14条 落書きについて

1. 落書きは放置せず、消しとるなど速やかに対応をする。

第15条 催物について

1. 町内会や各団体が行う催物には積極的に参加する。

【付 則】

1. 中華街憲章は1995年6月に制定した。
2. 横浜中華街街づくり協定は2006年10月1日より施行する。

街づくり協定に基づく事前相談の届出・申請とその手続き

事前相談



計画書の提出



横浜中華街街づくり委員会の開催



検討・調整



承諾書の発行



行政機関への手続き

横浜中華街街づくり協定に関する問い合わせ先

横浜中華街発展会協同組合:045-662-1252

横浜中華街「街づくり」団体連合協議会:045-662-0701

発行横浜中華街「街づくり」団体連合協議会

平成18年(2006)9月発行